

第86回都市対抗野球大会要項

1. 主 催 公益財団法人日本野球連盟 毎日新聞社
2. 後 援 スポーツニッポン新聞社 共同通信社 総務省
3. 期 日 2015年7月18日(土)から12日間
4. 球 場 東京ドーム
5. 代 表 32チーム

推 薦	1	大垣市・西濃運輸(前年度優勝)
北 海 道	1	北海道
東 北	2	青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島
北 信 越	1	長野・新潟・富山・福井・石川
北 関 東	2	茨城・群馬・栃木
南 関 東	2	千葉・埼玉
東 京 都	4	東京
西 関 東	2	神奈川・山梨
東 海	6	静岡・愛知・岐阜・三重
近 畿	5	京都・滋賀・奈良・大阪・和歌山・兵庫
中 国	2	岡山・広島・山口・鳥取・島根
四 国	1	香川・愛媛・徳島・高知
九 州	3	福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

6. 出場資格

日本野球連盟登録規程に則り、予選・本大会とも、選手登録期間第1期(1月1日～4月30日)末日までに加盟登録を完了した加盟チーム並びに競技者登録を完了した競技者に出場資格を与える。ただし、5月10日以前に予選が行われる場合は、開始の10日前までとする。

7. 試合出場の制限

第1次予選において敗退した加盟チームの選手は、第2次予選の試合に出場することができない。ただし、予選規約第8項の但し書きによる場合はこの限りではない。

8. 補強選手の届け出

代表チームは、その予選地区の第1次並びに第2次予選において敗退した加盟チームから3名以内を選出し、補強選手として本大会に出場させることができる。この場合、6月18日(木)までに日本野球連盟へ届け出なければならない。

9. 補強選手の合流時期の制限

補強選手は、7月1日(水)から出場チームの練習に合流することができる。

10. 出場承諾書の提出

代表チームは、本大会において試合に出場することができる全選手(補強選手を含む)を記載した「出場承諾書」を作成し、6月18日(木)までに日本野球連盟へ届け出なければならない。なお、出場承諾書に記載する役員については別に定める。

11. 試合出場登録選手の届け出

試合に出場することができる選手は、25名以内とし、毎試合ごとに競技本部へ届け出なければならない。

この場合、あらかじめ提出した出場承諾書に記載されている選手に限るものとする。

なお、ベンチ入りする役員(6名以内)については、別に定める。

12. 都市の推薦

出場チームは、その所在都市を代表する意味で都市長または町長の推薦状を提出する。
また、ユニフォームの右袖に都市町章を貼付する。

13. 交通費の支給

出場チームに 25名分の交通費(チーム所在地～東京の片道運賃・特急券含む)を支給する。

14. 表彰

優勝チーム 黒獅子旗、連盟杯、宮原賞 (以上持回り)、本田メダル、
優勝エンブレム、チャンピオンフラッグ
準優勝チーム 白獅子旗 (持回り)、本田メダル
第3位の2チーム 黄獅子旗を贈る。
各地区代表チーム 第86回大会代表盾を贈る。
*優勝エンブレムは、翌年の都市対抗まで1年間にわたりユニフォームに貼付することができる。

15. 選手表彰

優秀選手選考委員会の決定によって次のとおり選手を表彰する。

橋戸賞 本大会で最も優秀なプレーを続けた最優秀選手。
久慈賞 本大会で最も敢闘した選手。
小野賞 本大会で特に顕著な活躍をしたチームまたは、監督・選手。
若獅子賞 本大会で最も活躍した新人選手。
首位打者賞 準決勝に進出したチームで、4試合(打席12、打数10)以上出場して、
最高打撃率を記録した選手。(同率の場合は内規による)
打撃賞 打撃面で特に活躍した選手。

16. 試合方法

トーナメント方式により優勝チームを決定する。

17. 監督会議

6月19日(金) 午前11時より「日本教育会館 会議室」において監督会議を開催する。
代表チームは、2名(監督・マネージャー)が出席する。

18. 試合組合せ

6月19日(金) 午後1時30分より「日本教育会館 一ツ橋ホール」において組み合わせ抽選会を開催し、試合組合せを決定する。
推薦出場(前年優勝)の大垣市・西濃運輸は、開幕日(第1日目・第一試合)に指定する。

19. 特定試合シード選定会議の開催

特定試合シードとなるチーム並びに試合日程を選定するための会議を6月16日(火)、
午後2時から開催する。

20. 開会式

7月18日(土)午後0時20分より「東京ドーム」において、出場全チーム参加による入場行進並びに開会式を開催する。

21. 試合規則

試合規則は、2015年度公認野球規則および社会人野球内規による。
特別の試合規則は別に定める。

22. 審判員

審判員は、本連盟が推薦する。

23. 優勝チーム

優勝チームは、次年度の都市対抗野球大会本大会に推薦出場とする。
この場合、補強選手はなしとする。